

知っておこう「災害護身術」

今回の地震に皆さんは落ち着いて対処できたでしょうか。今後30年以内に99%の確立で起きるといわれている宮城県沖地震は、今回の地震よりもさらに大規模であることが予想されており、津波が発生する可能性もあります。またいつ地震が来るかわかりません。いざというときのために、地震や津波から身を守る対処法をご紹介します。

地震

強い揺れを感じたり、緊急地震速報で強い地震が来ることが知らされたら、次の点を参考に身の安全を守りましょう。

▽**身の安全を守る** 机やテーブルの下に隠れて、落ちてくる物や倒れてくる物から身を守りましょう。

▽**ドアを開ける** 地震で家がゆがみ、ドアが開かなくなる場合があります。揺れを感じたらドアを開けておきましょう。

▽**割れたガラスに注意** 地震で窓や食器棚などのガラスが割れた場合、室内に散乱して大変危険になります。室内でもスリッパや靴を履いて移動するようにしてください。

▽**火の元の確認** ガスコンロやストーブなど火を使っているものや電気器具はすぐ消して



昨年の町総合防災訓練で避難する船越地区の皆さん



ください。遠くにある場合は無理せず、揺れが落ち着いてから消しましょう。

▽**建物の外には飛び出さない** 建物の上から崩れた外壁や瓦割れたガラスなどが落ちてくる場合があります。外に出る前には安全を確認し、建物のそばから離れてください。

津波

震度4以上の強い揺れや長い時間の揺れが発生したら、津波の危険性があります。津波注意

報や警報の発表を待たずに、すぐに避難場所や高台へ避難してください。

※津波が発生したときの町内の避難場所は5ヶ所に掲載しています。お近くの避難場所を確認してください。

▽**海岸に近づかない** 津波のスピードは海岸付近で時速36kmくらいととても速く、津波が見えてからでは逃げ切れません。海の様子を見ようとして海岸に近づくのは危険ですので、絶対にやめてください。

避難

安全に避難するため、次の点に注意してください。

▽**こんな場所は危険** 狭い路地

や塀ぎわでは瓦などが落ちてきたり塀が倒れてきたりすることがあります。また崖や川べりは崩れやすくなっているため、できるだけ近づかないようにしましょう。

▽**避難は徒歩で** 自動車で避難しようとする道路が渋滞になり、緊急車両が通行できない、緊急車両が通行できない、必ず徒歩で避難してください。また、子供やお年寄りには手をつないで避難しましょう。

▽**携行品は背負って** 非常持ち出し品などの荷物は背負い、両手は空けておきましょう。

▽**正確な情報を手に入れよう** ラジオやテレビ、消防署や役場などから正確な情報入手し、デマに惑わされないようにしてください。

地震が来たらとにかく避難

町防災対策主幹

道又 修さん



昨年10月から緊急地震速報が始まりましたが、震源地が近い場合は速報が間に合わないこともあります。強い揺れが突然襲ってきたらどう対応するか、普段から考えておくとういでしょう。

また、津波が起きる前には潮が引くといわれていますが、地震の起こり方や地形によっては引き潮が起らないこともあります。引き潮が起らないからといって津波が来ないという思い込みは危険です。とにかく強い地震＝津波と考えて、すぐに避難するようにしてください。

この人に聞く

Interview